

# 大月市第7次総合計画策定

---

市民アンケート調査の結果（抜粋）

# 調査概要

---

## 調査対象

大月市内に居住する20歳以上の方

## 調査期間

平成27年2月13日（発送）～3月17日（到着分）

## 配布数

2,000人

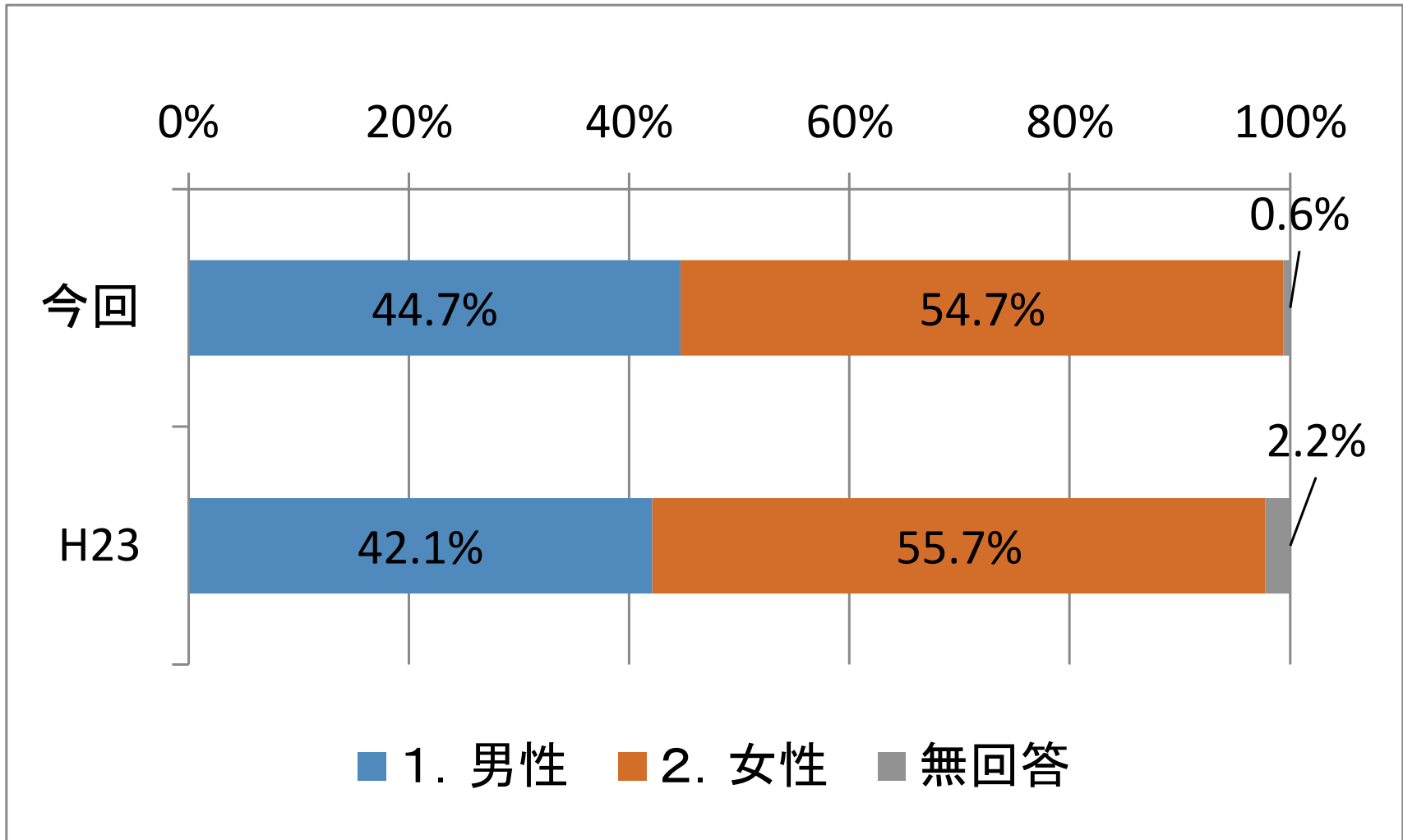
## 回収数

846通（回収率42.3%）

# 1. 回答者自身について

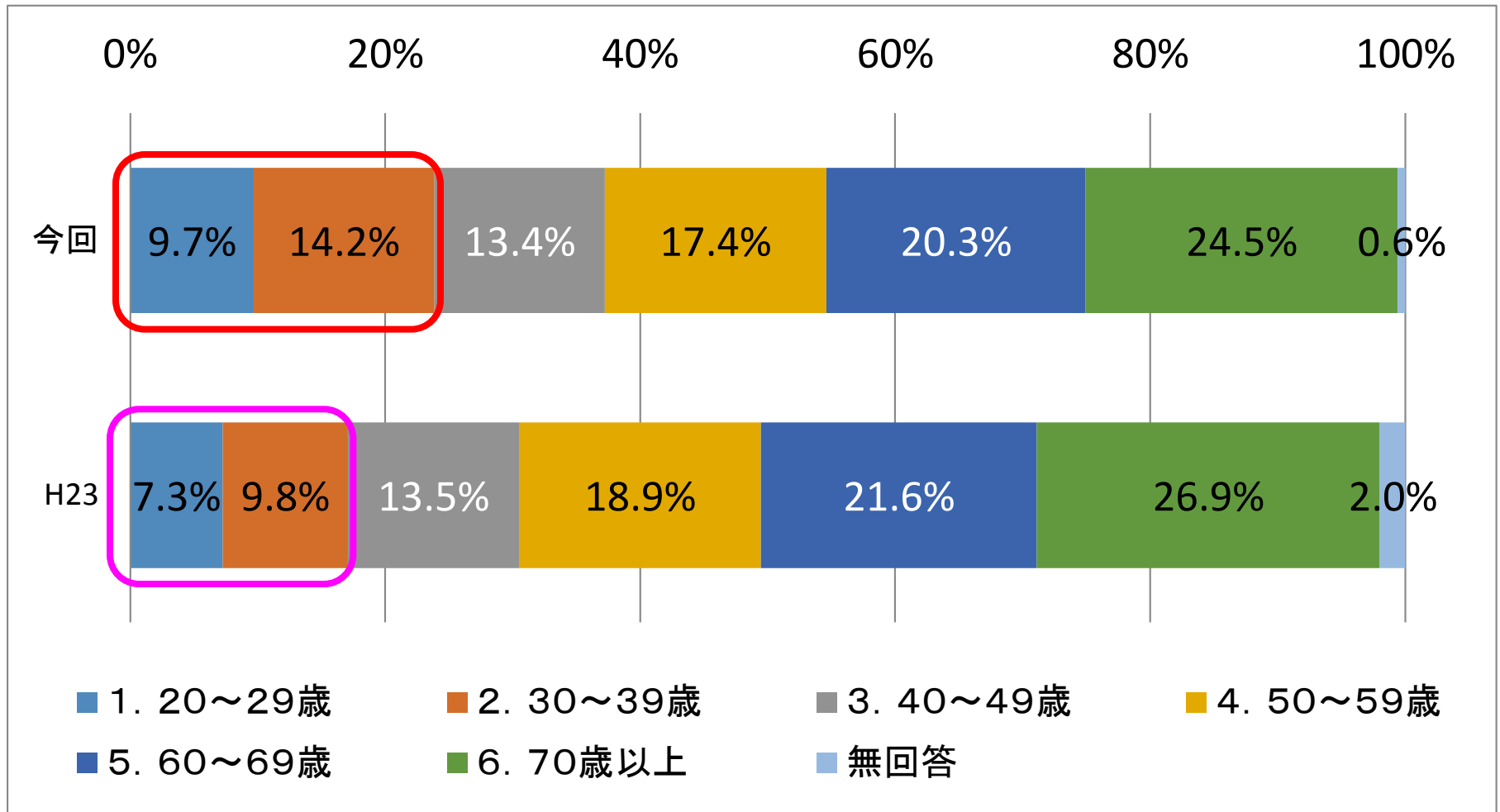
---

## 回答者の性別



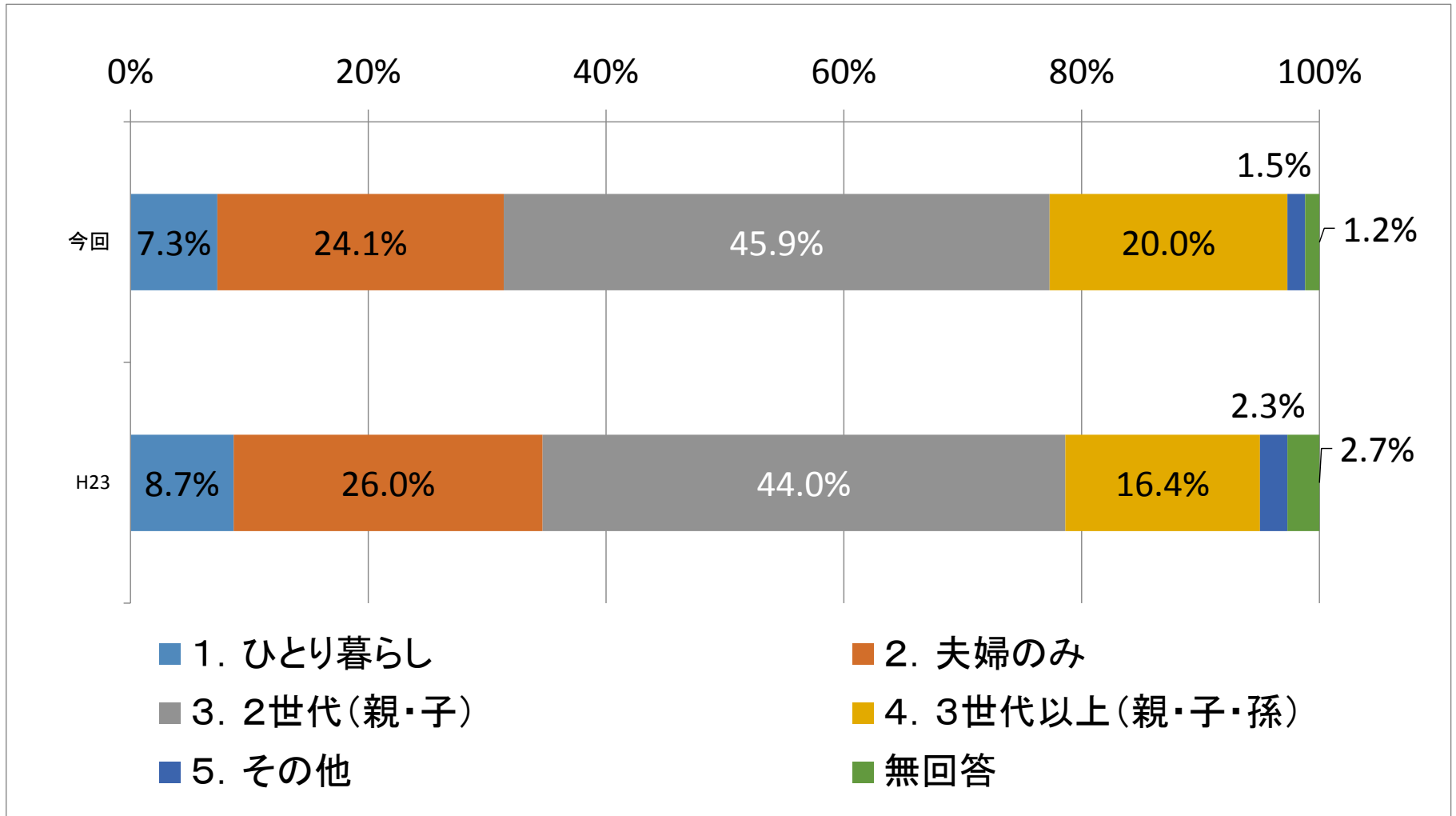
前回、今回ともに女性の回答が多い傾向

# 回答者の年齢



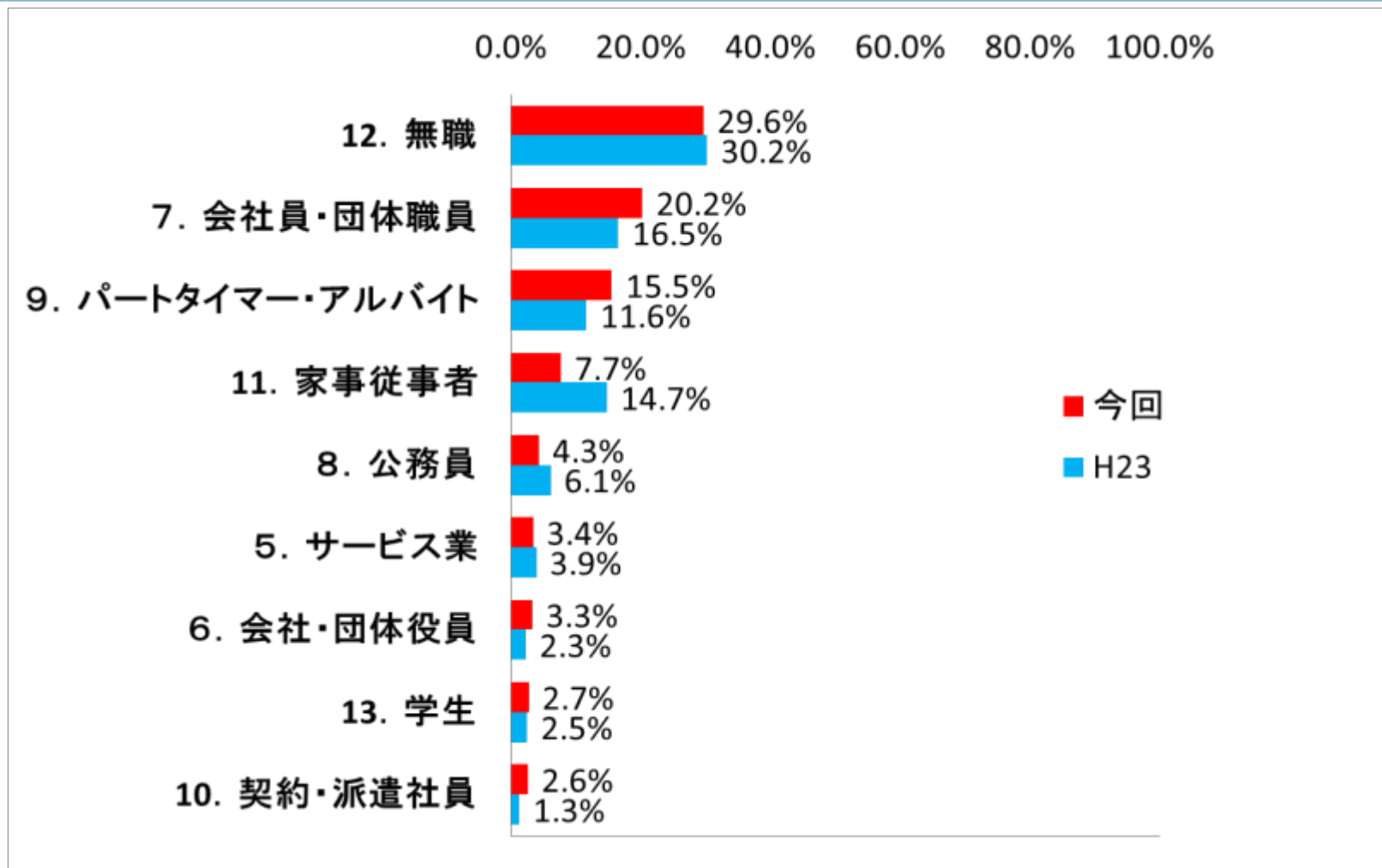
前回調査から20~39歳が全体の23.9%と増加

# 家族構成



2世代（親・子）が45.9%と、前回調査と相違無し

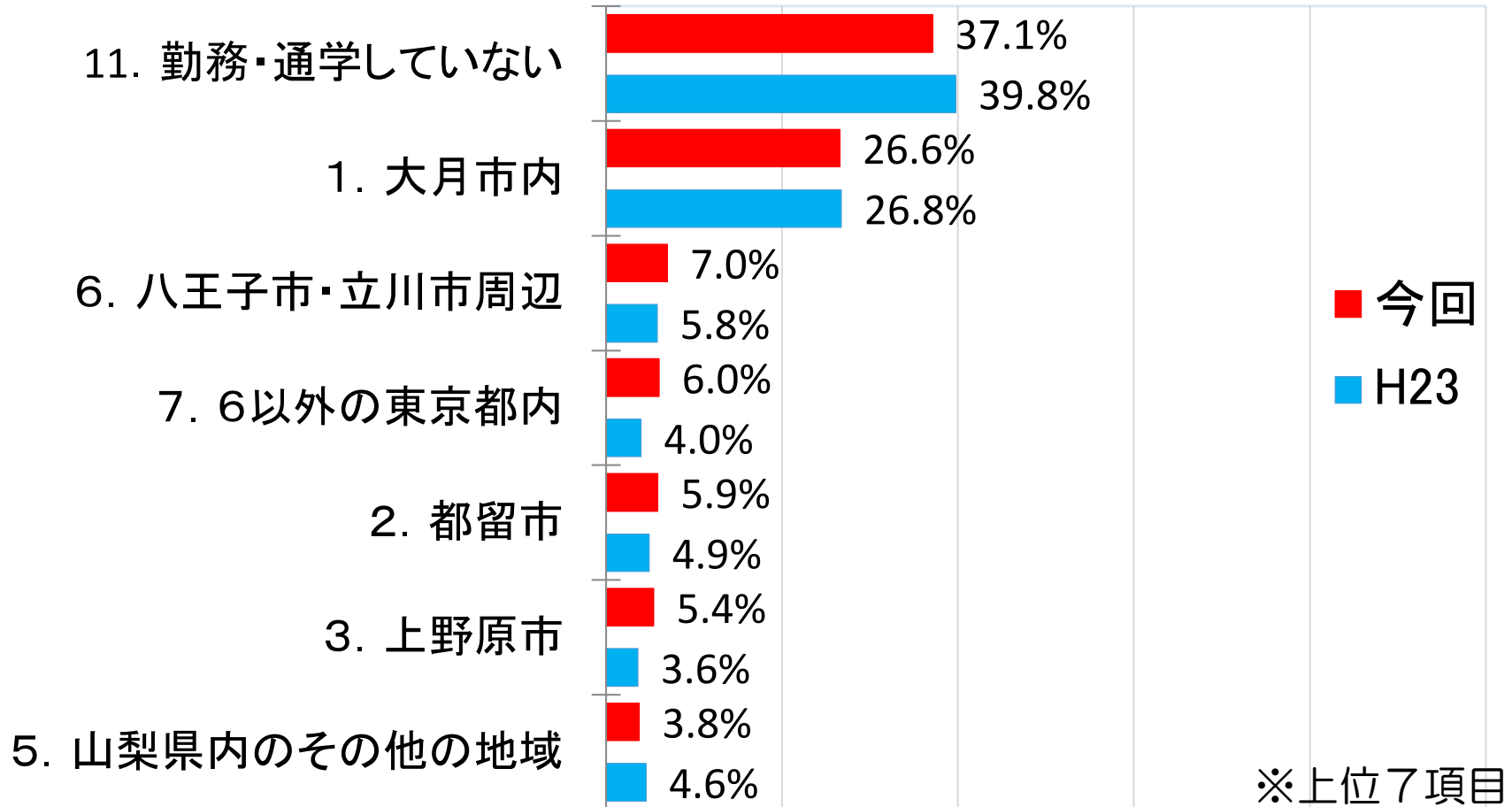
## 回答者の職業



「無職」が約30%、「会社員・団体職員」が約20%  
前回と比べてパート・アルバイトが約5%増加し、  
家事従事者が約7%減少

## 回答者の勤務地

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



勤務地は大月市内が最も多く26.6%

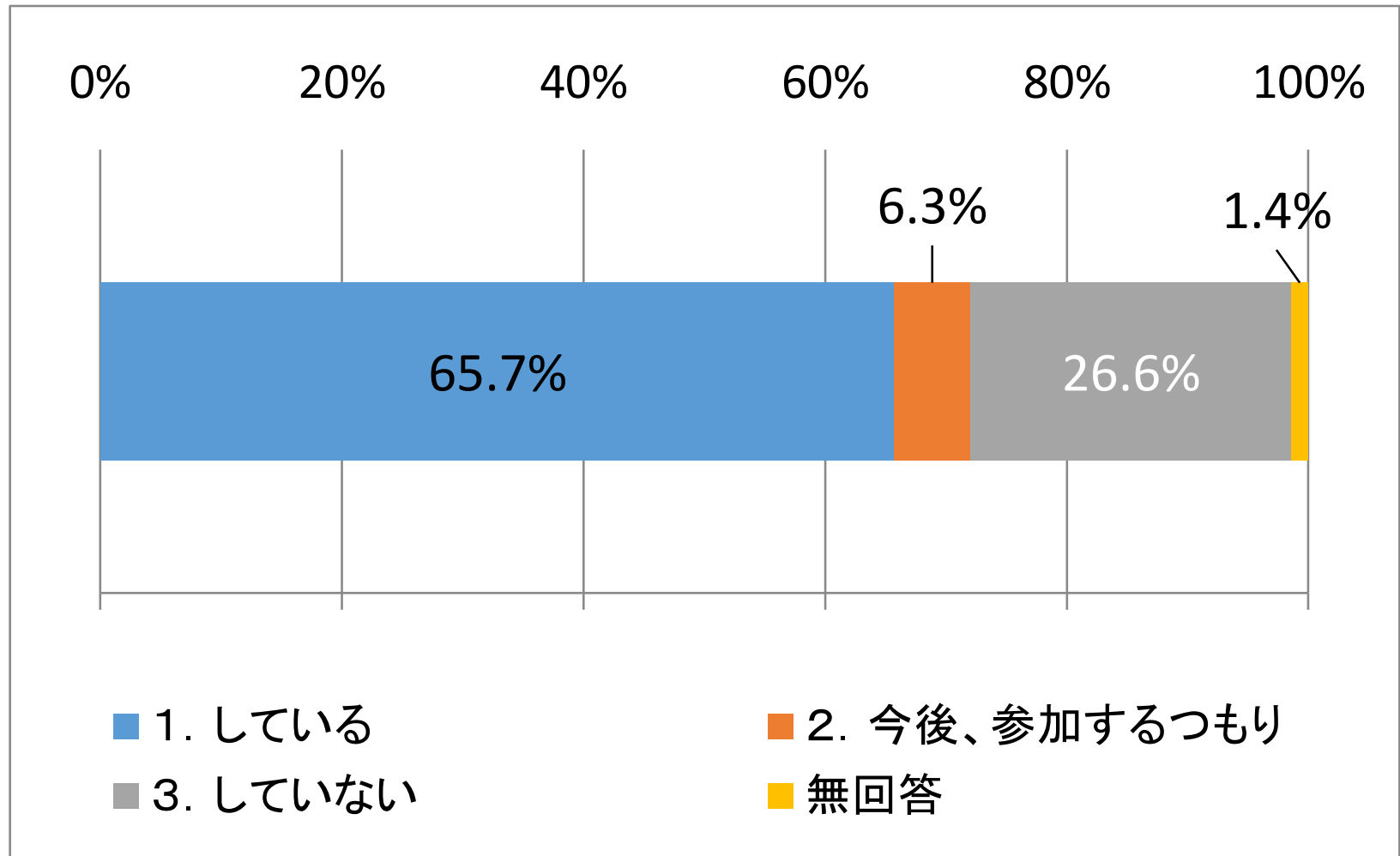
勤務地が東京都内の方も13.0%



## 2. 大月市の人づくりについて

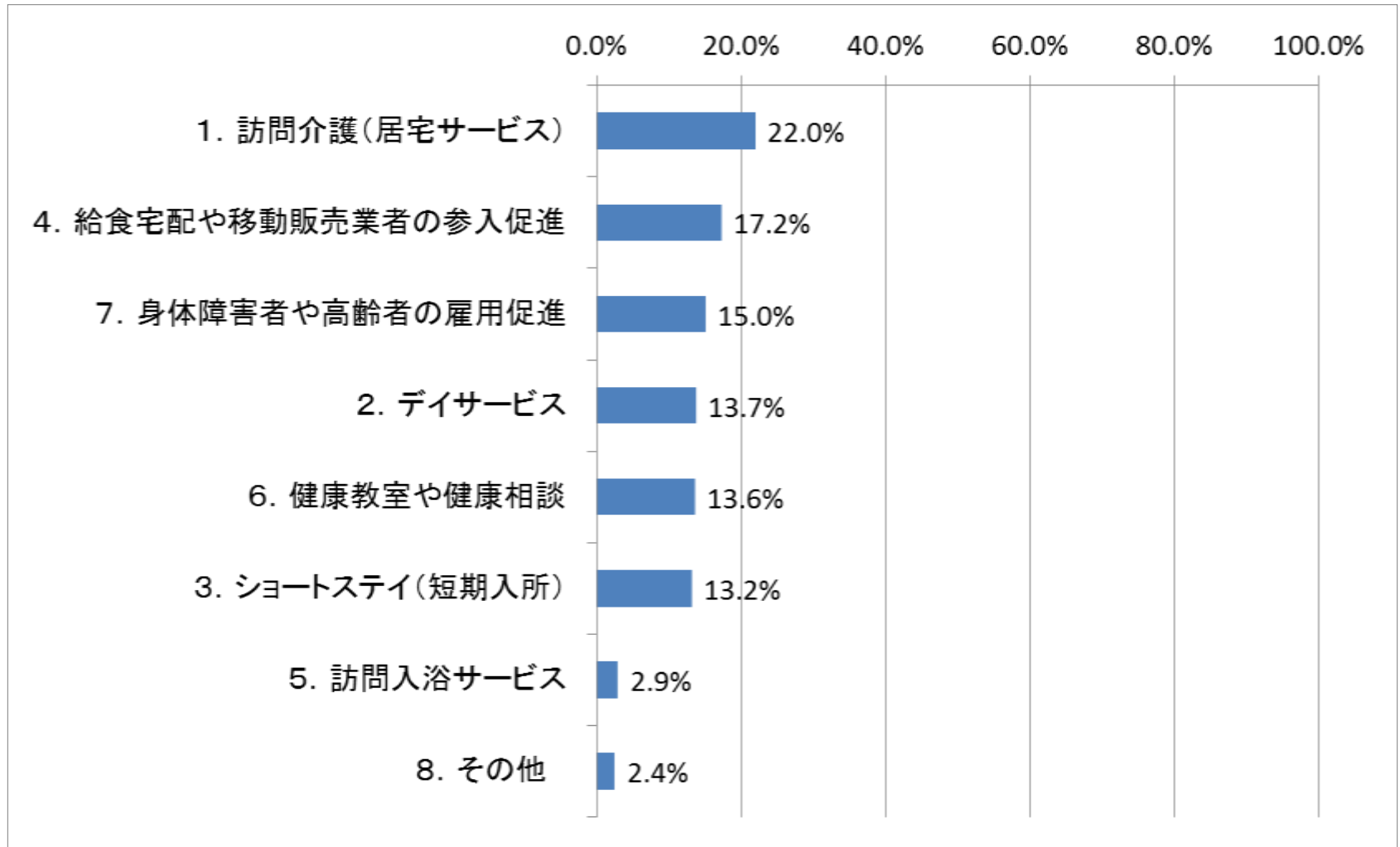
---

## 自治会活動や行事への参加(SA)



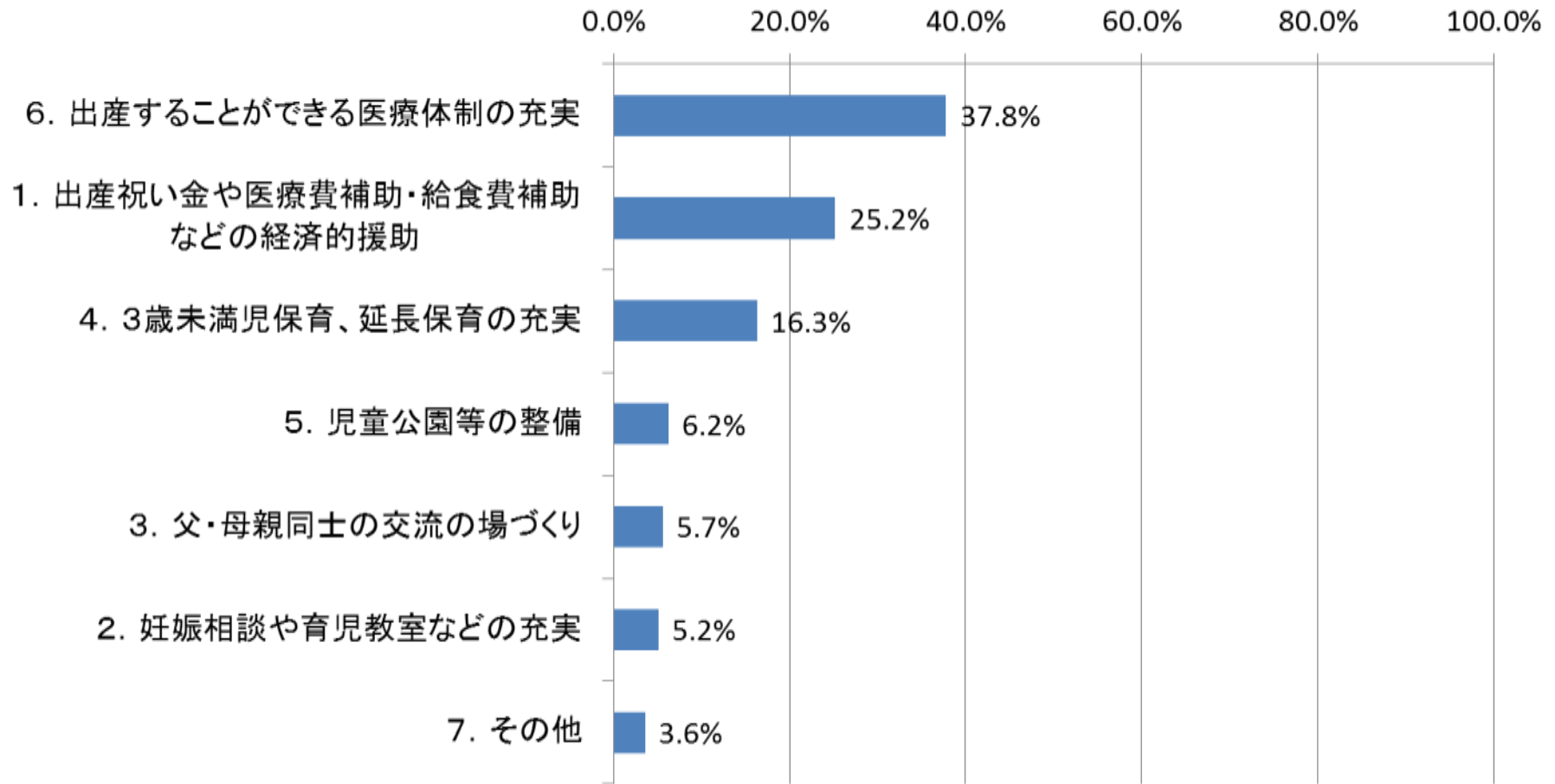
「参加している」は65.7%

# 高齢者等福祉のまちづくりに必要なサービス(2LA)



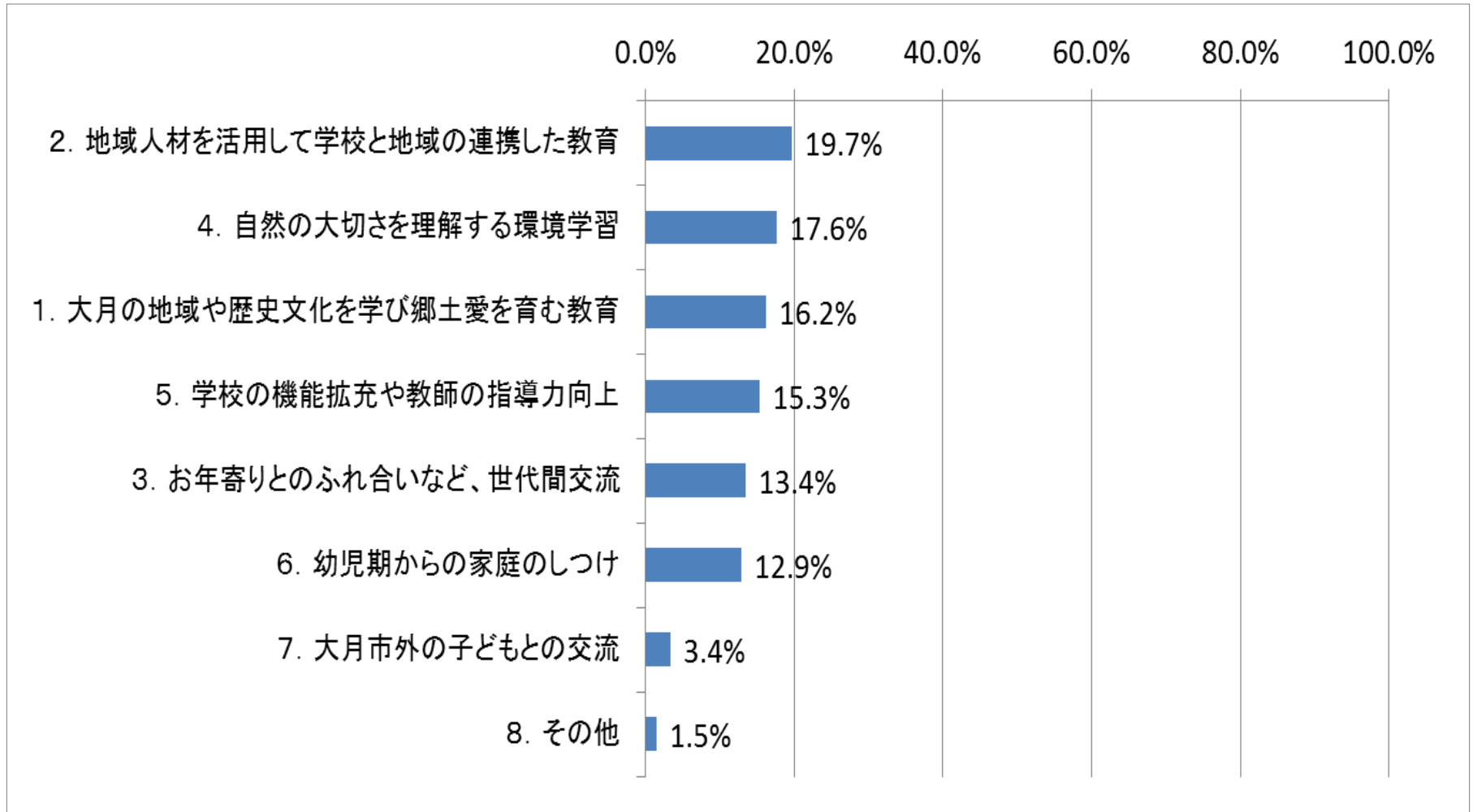
「訪問介護（居宅サービス）」が最も多く、「給食宅配や移動販売業者の参入促進」、「身体障害者や高齢者の雇用促進」と続く

# 子どもを育てるために必要なこと(2LA)



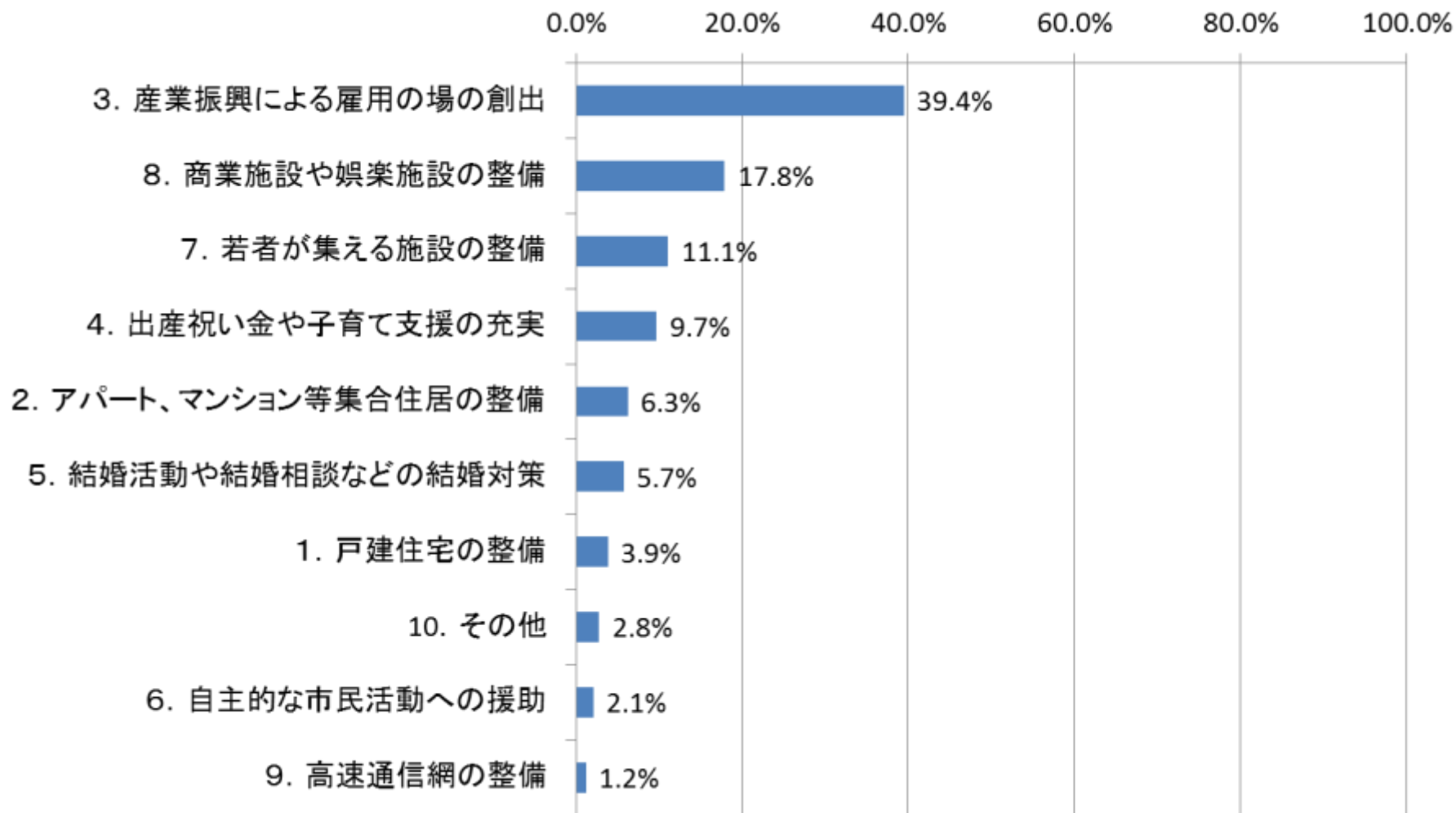
「出産することができる医療体制の充実」が最も多く、  
「出産祝い金や医療費補助・給食費補助などの経済的援助」  
と続く

# 力を入れるべき子どもたちへのふるさと教育(2LA)



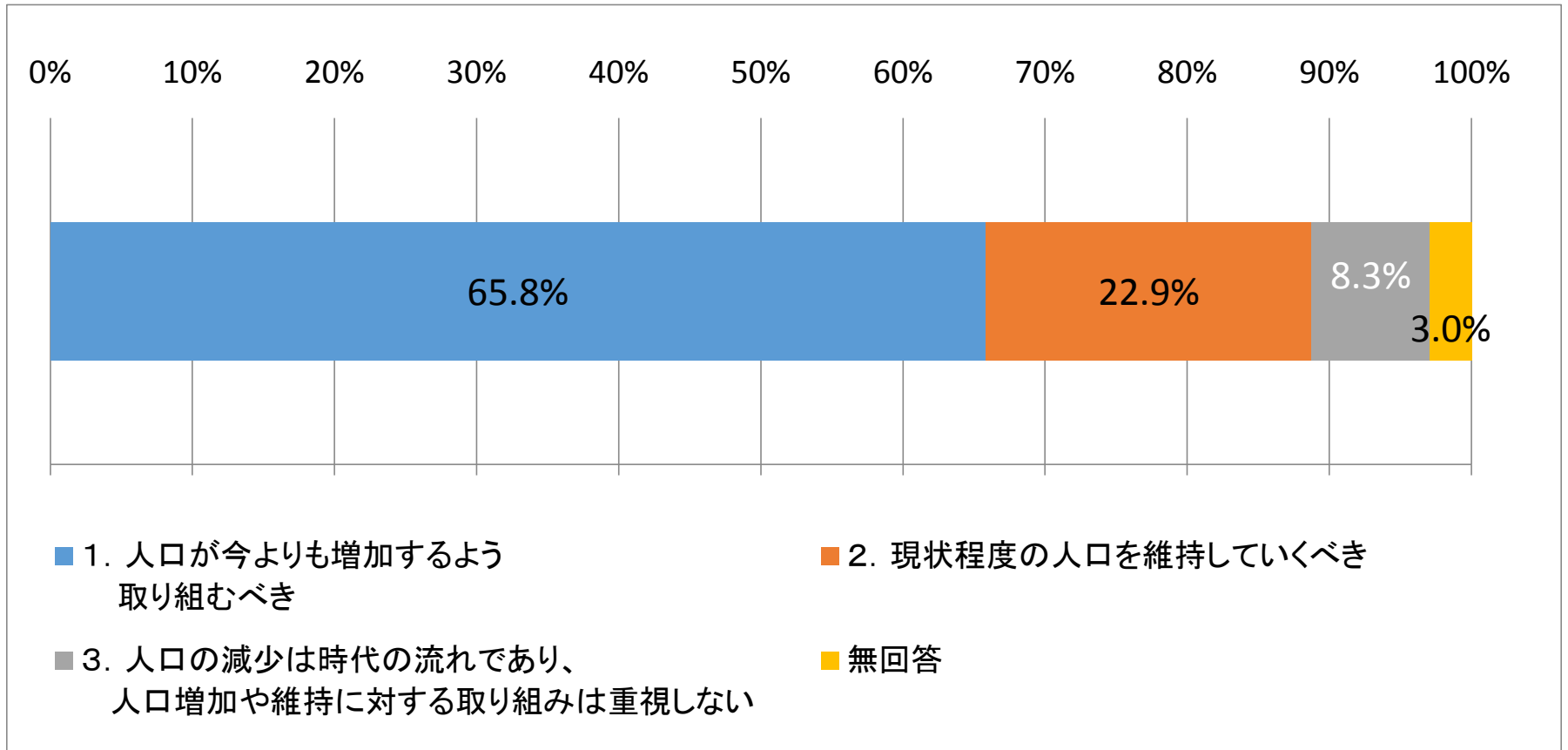
「地域人材を活用して学校と地域の連携した教育」が最も多く、「自然の大切さを理解する環境学習」、「大月の地域や歴史文化を学び郷土愛を育む教育」と続く

# 大月市に若者が定住するために必要なこと(2LA)



「産業振興による雇用の場の創出」が特に目立ち、約40%を占め、「商業施設や娯楽施設の整備」が17.8%と続く

# 大月市の人口についての考え(SA)



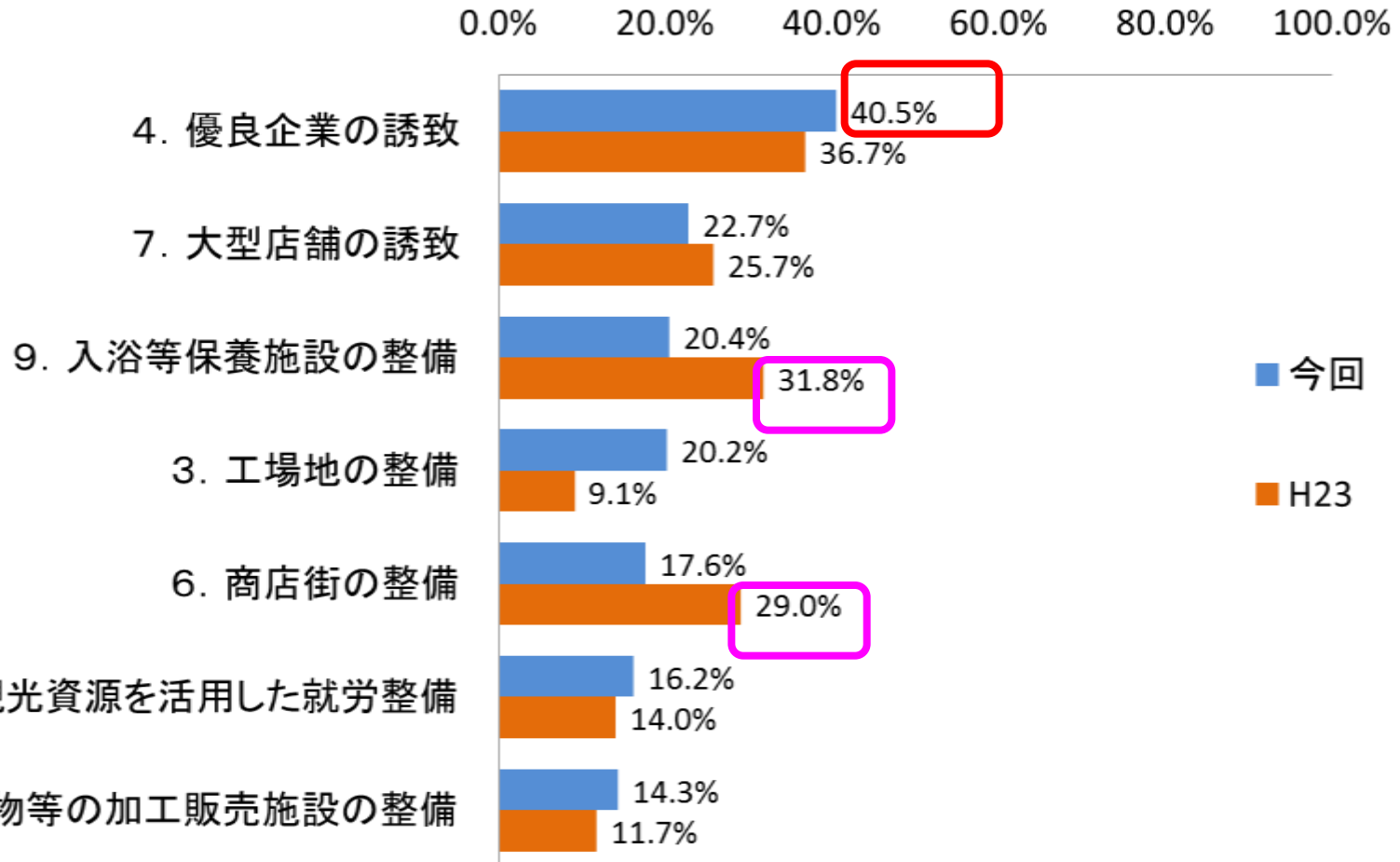
「人口が今よりも増加するよう取り組むべき」が65.8%、  
「現状程度の人口を維持していくべき」が22.9%

### 3. 大月市のまちづくりについて

---

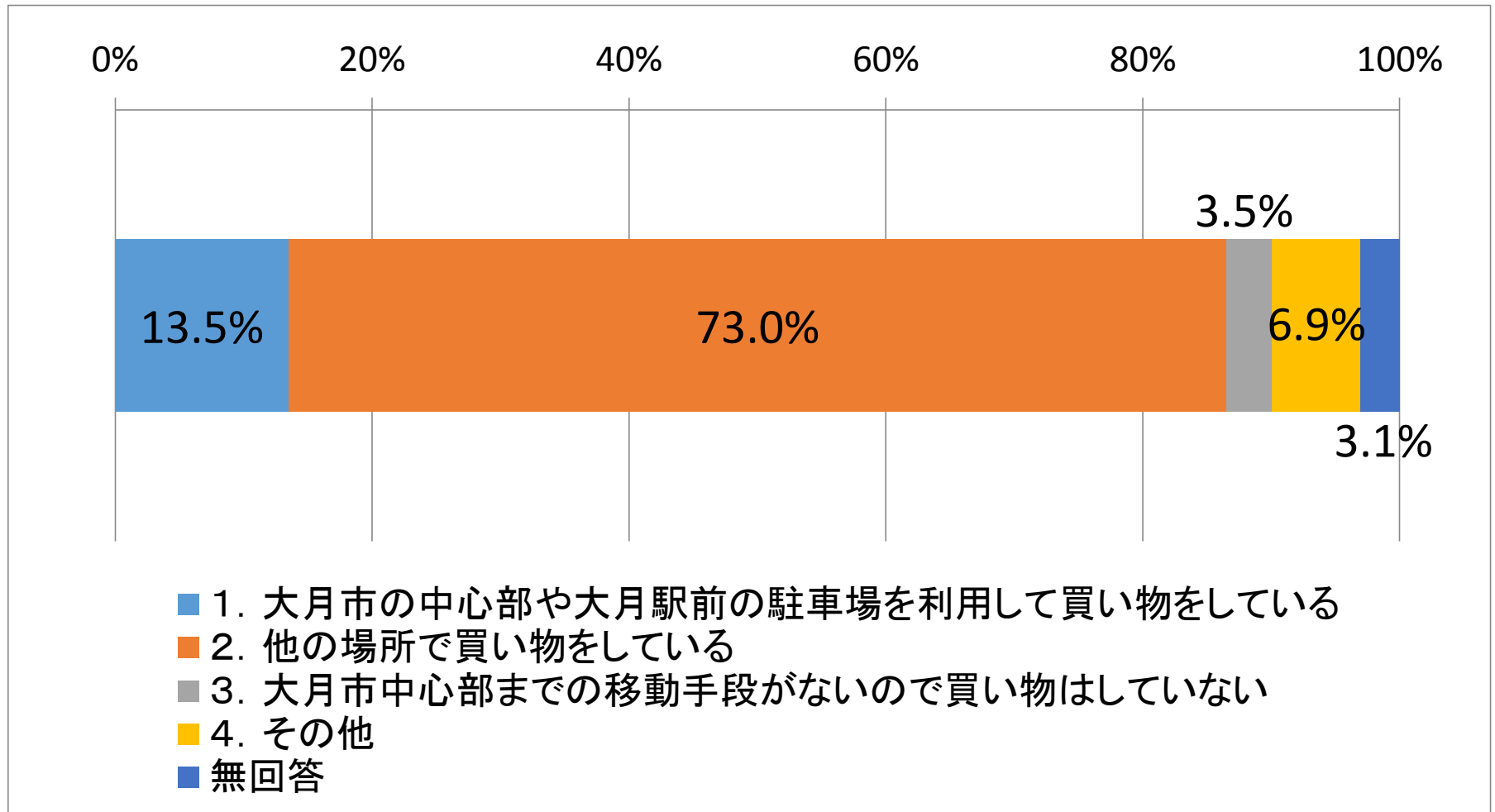


# 産業等で重点的に取り組むべきもの(2LA)



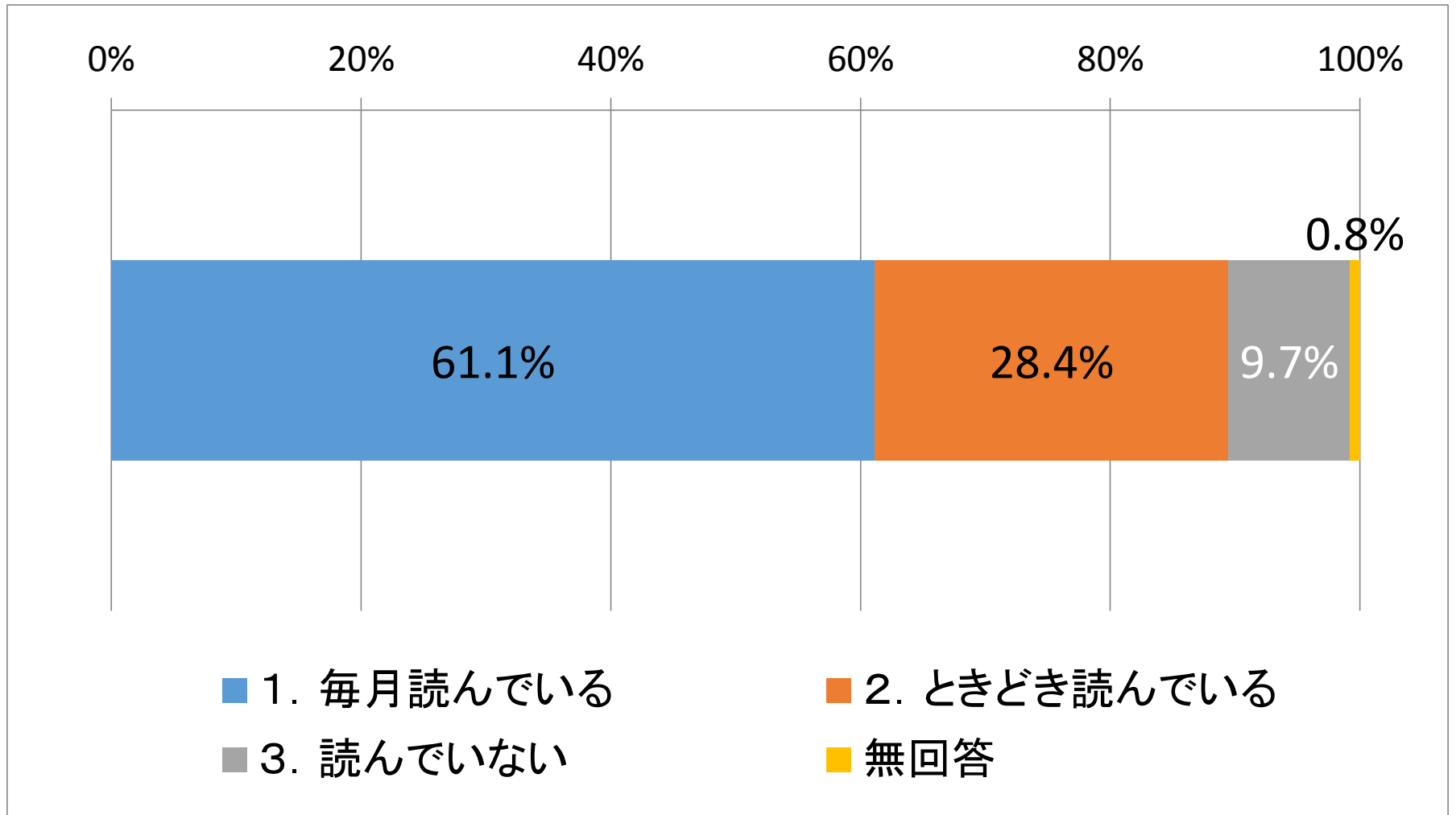
「優良企業の誘致」が最も多く40.5%  
前回と比べて、「入浴等保養施設の整備」、  
「商店街の整備」が約10%減少

# 中心部や大月駅前の駐車場の買い物時の利用状況(SA)



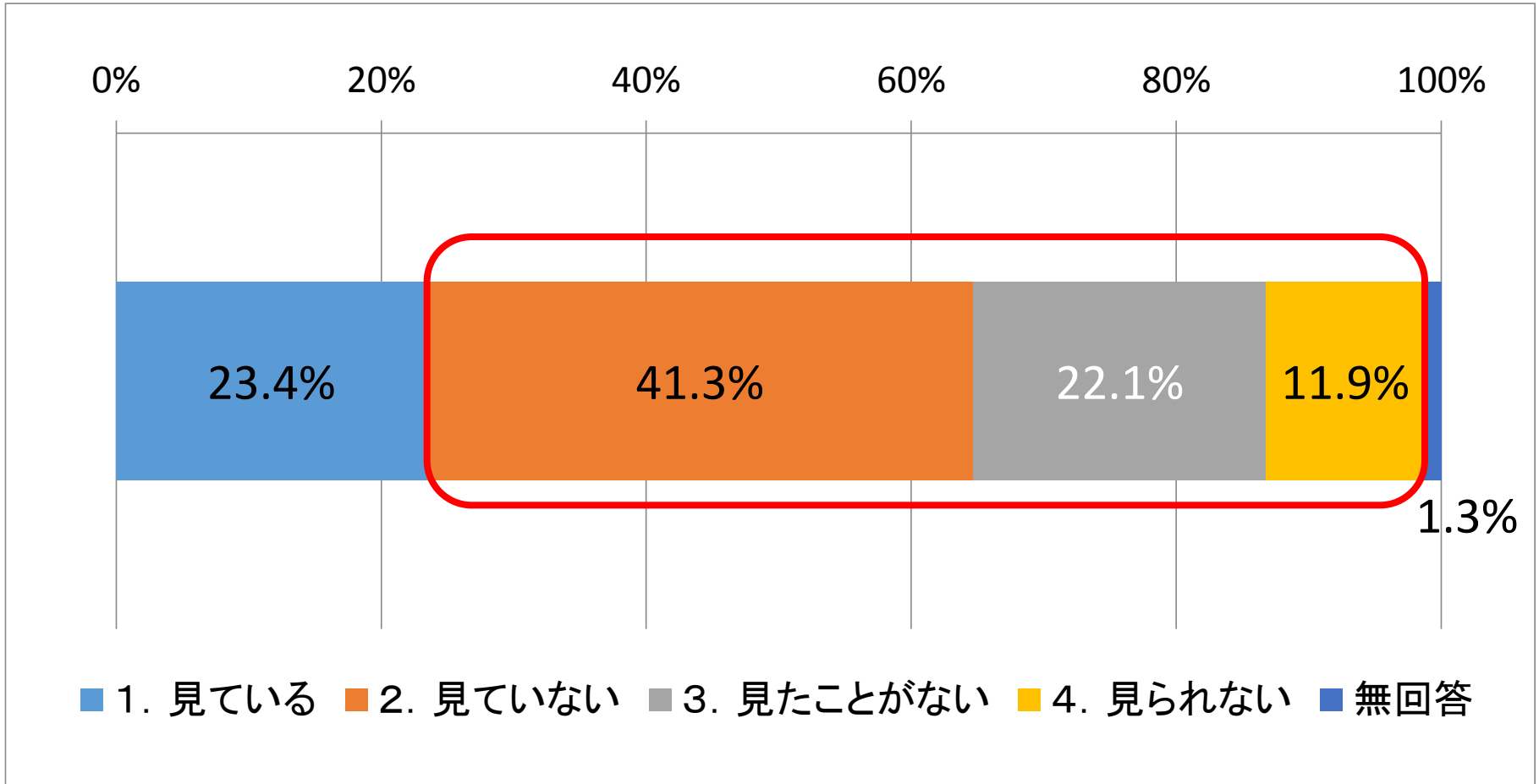
「他の場所で買い物をしている」が73%

## 広報おおつきを読んでいるか(SA)



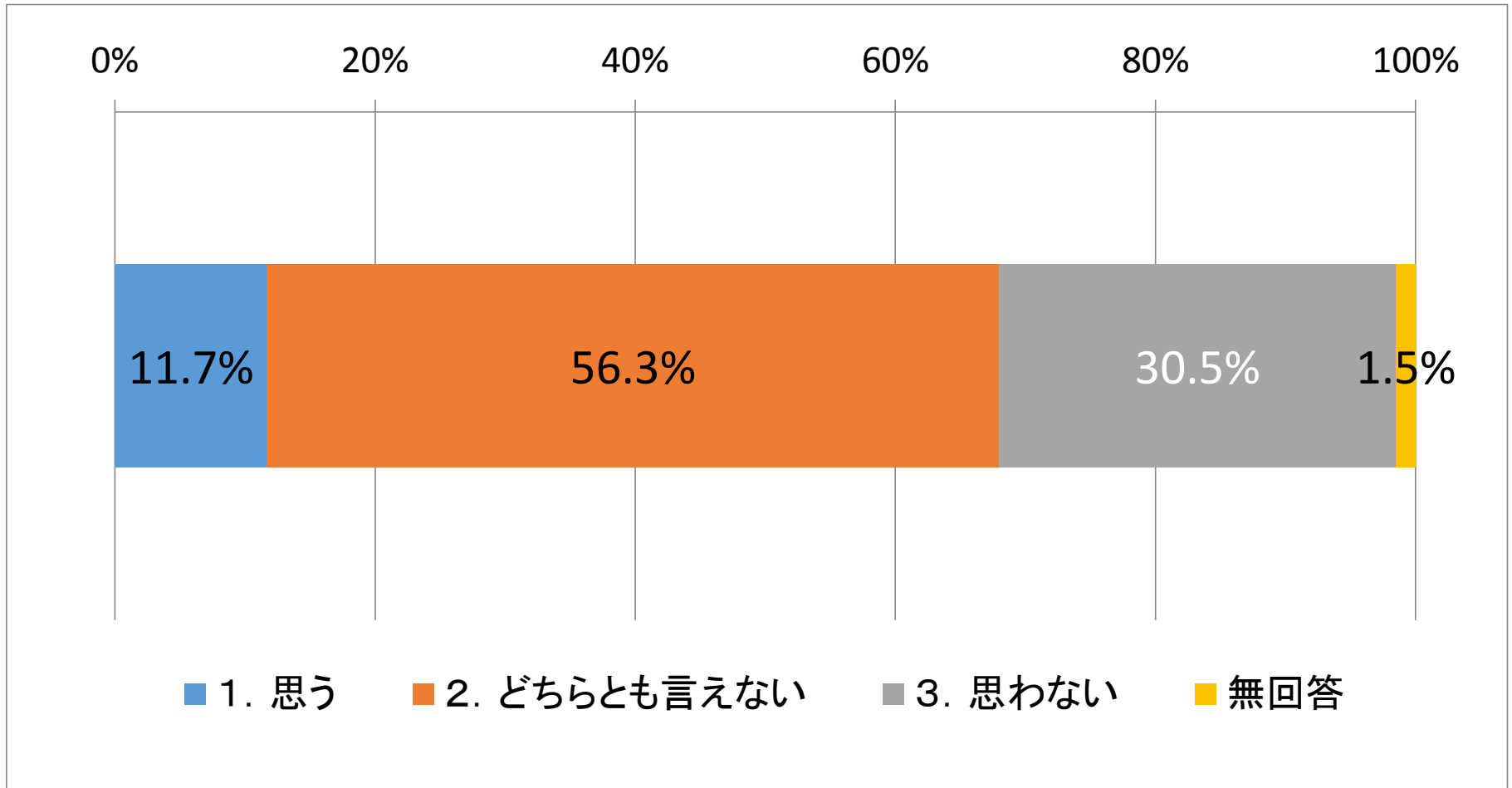
「毎月読んでいる」が61.1%、  
「ときどき読んでいる」が28.4%

# ホームページの閲覧状況(SA)



「見ていない」、「見たことがない」、「見られない」を合わせた、見ていない人が75.3%

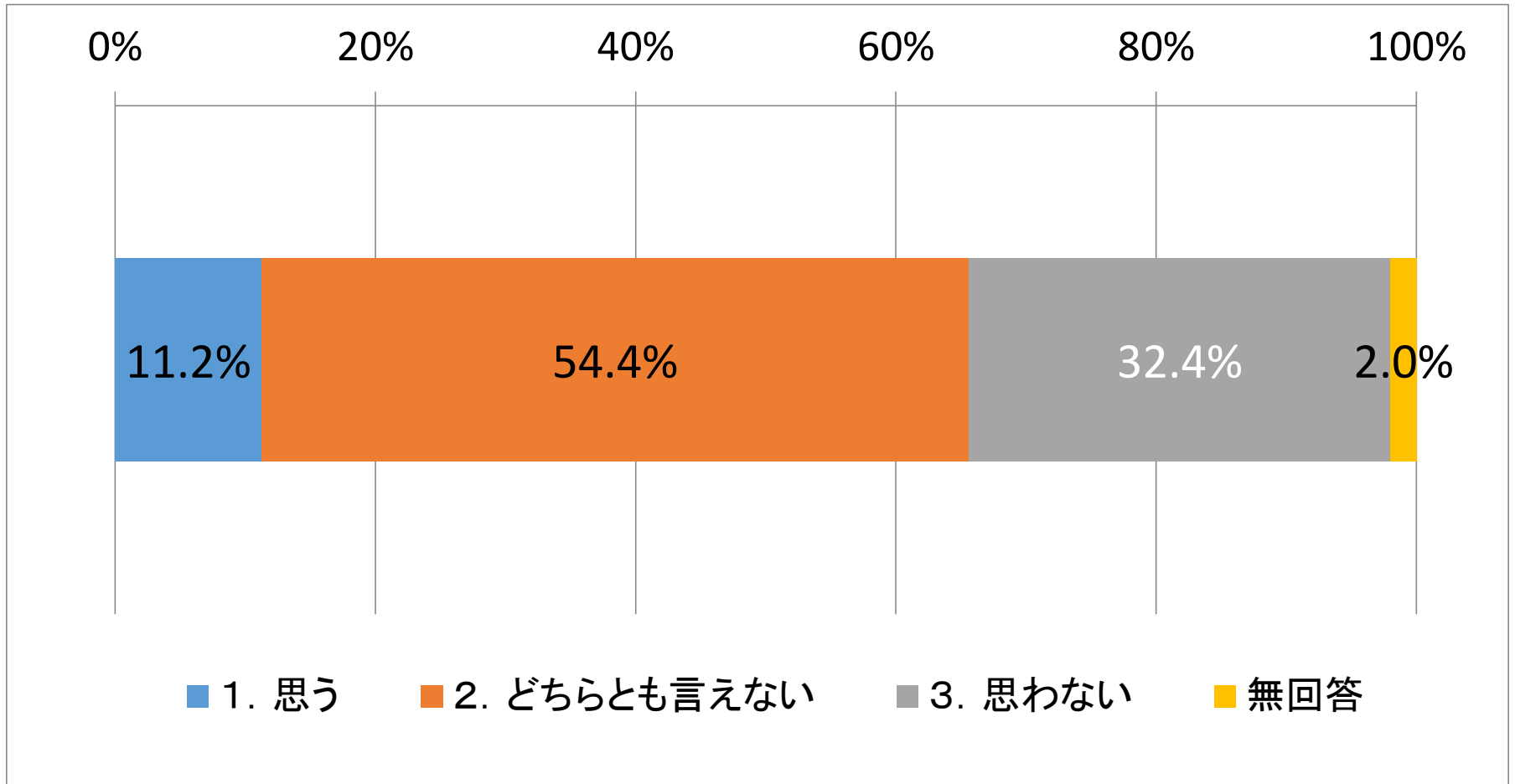
## 市役所情報が十分に伝達されているか(SA)



「どちらとも言えない」が56.3%

「思わない」が30.5%

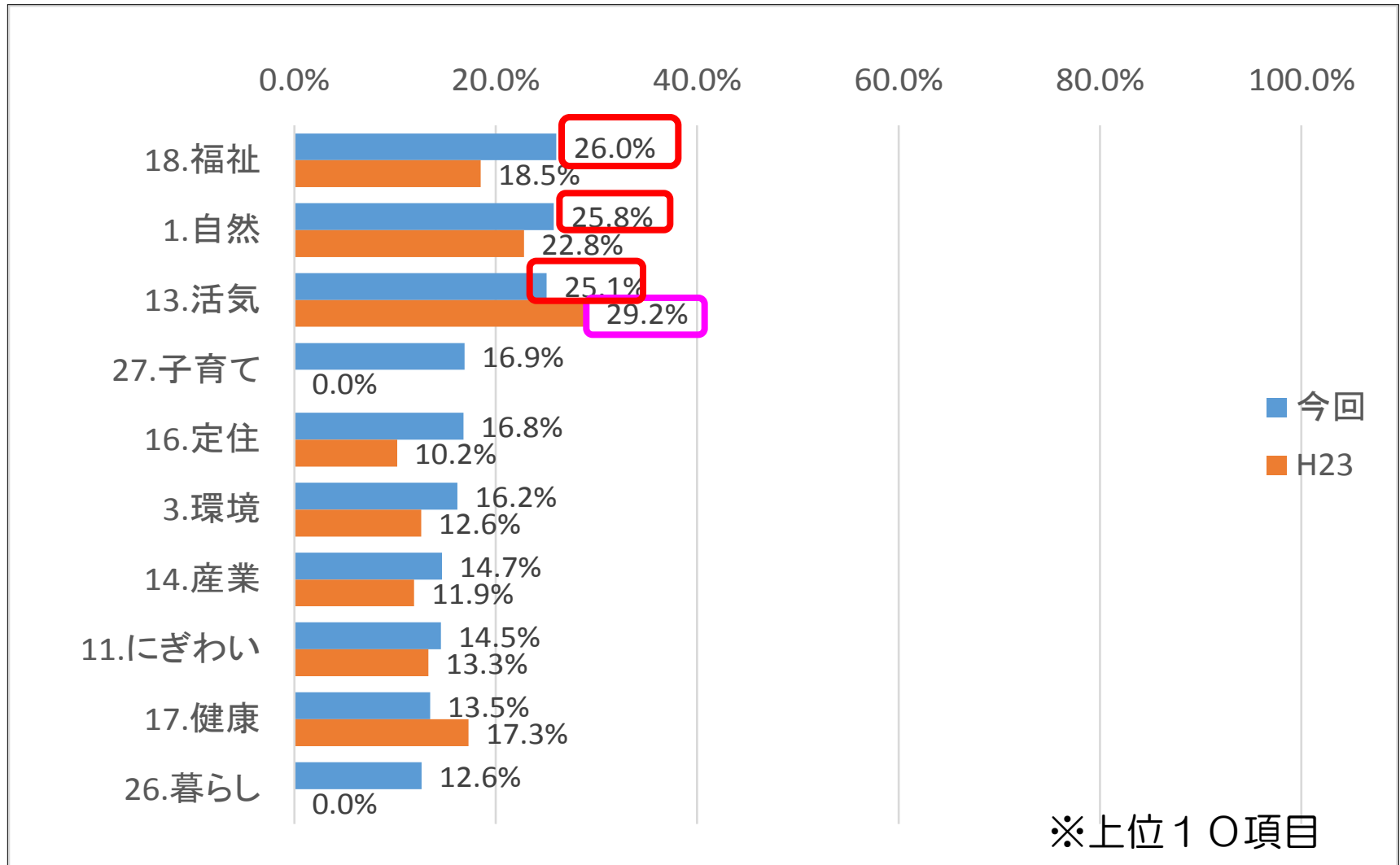
## 相談窓口や窓口サービスが充実しているか(SA)



「どちらとも言えない」が54.4%

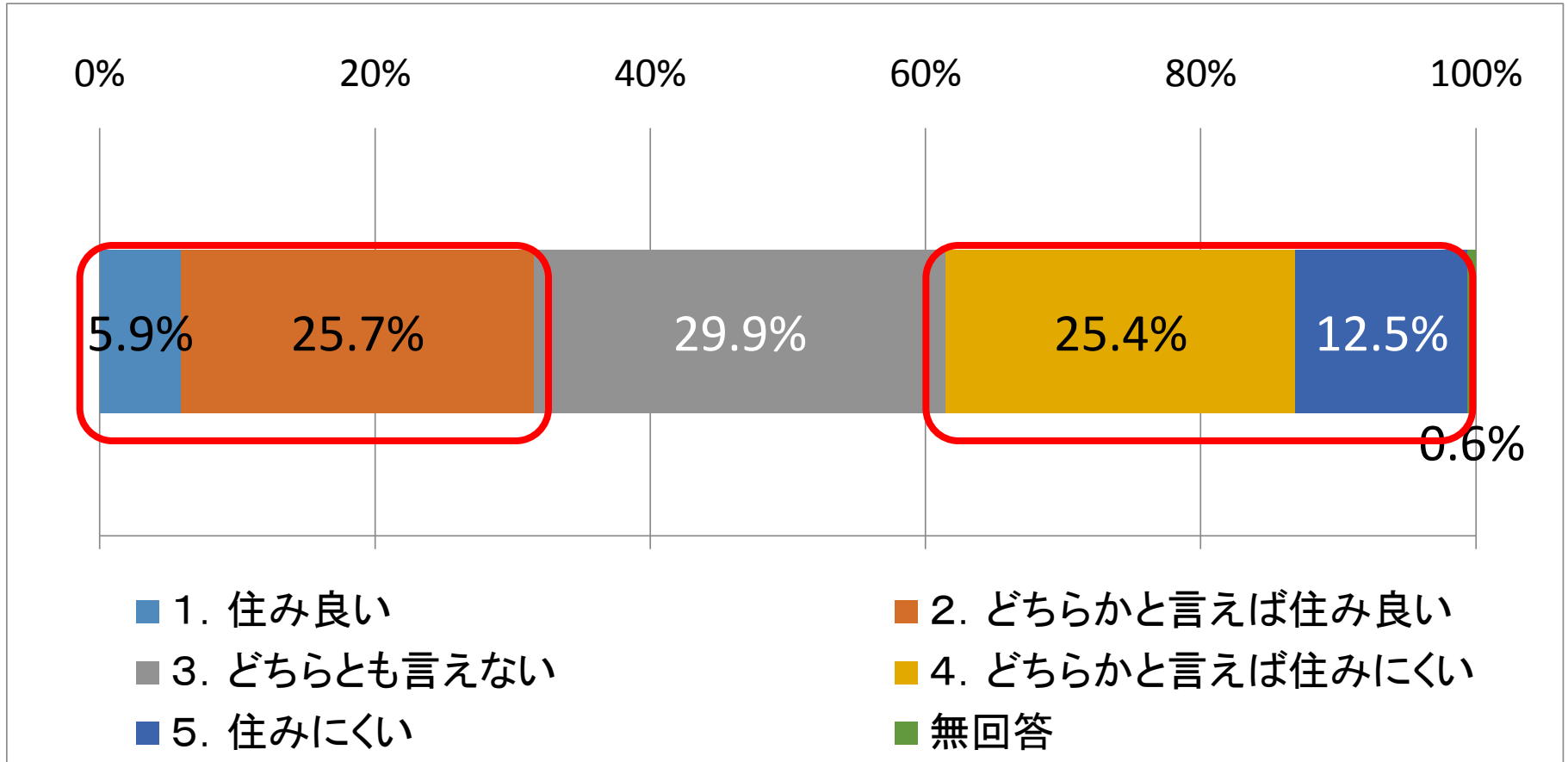
「思わない」が32.4%

# 大月市が重視することが望ましいキーワード(3LA)



「福祉」と「自然」と「活気」が多く、それぞれ約25%  
前は「活気」が29.2%

# 大月市の住みやすさ(SA)

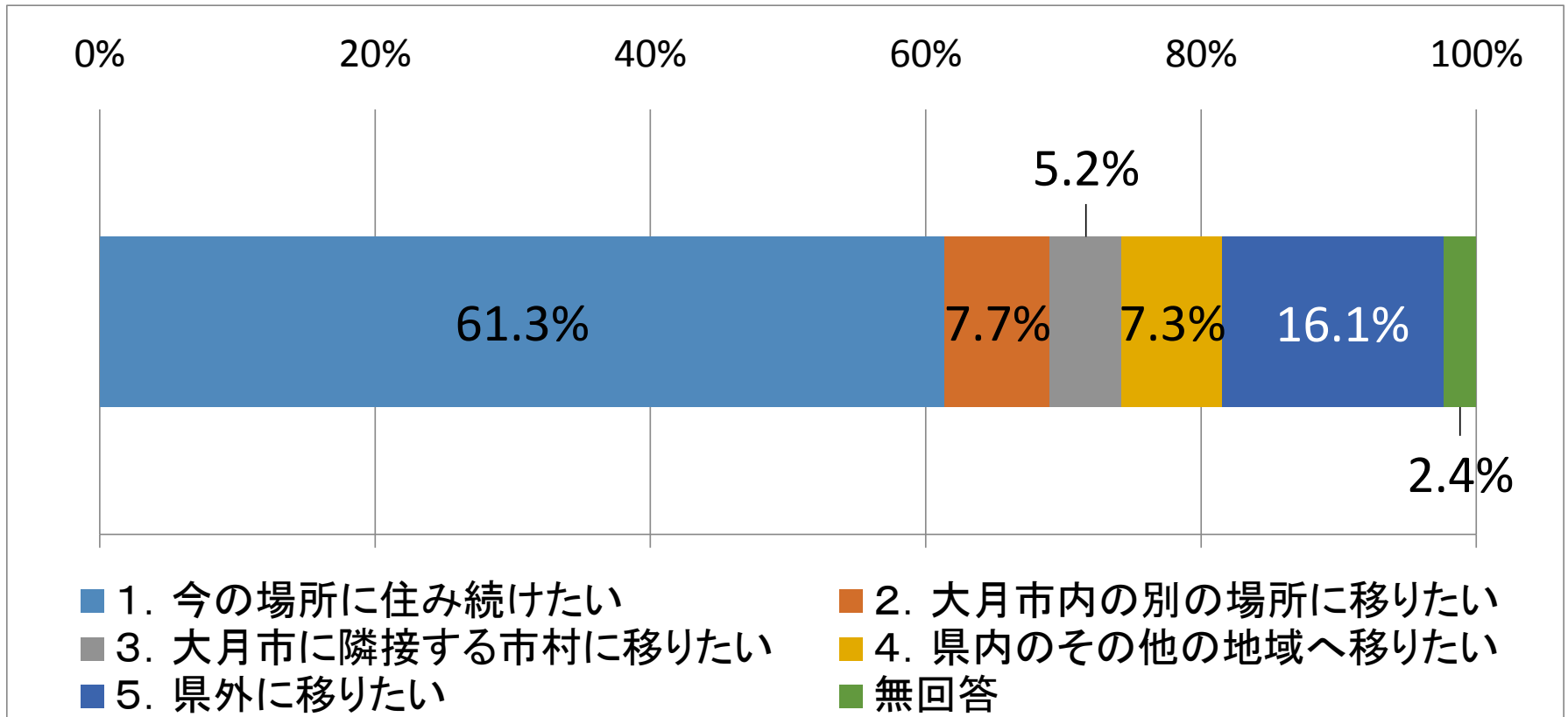


「住み良い」と「どちらかと言えば住み良い」を合わせた肯定的意見は31.6%

「住みにくい」と「どちらかと言えば住みにくい」を合わせた否定的意見は37.9%



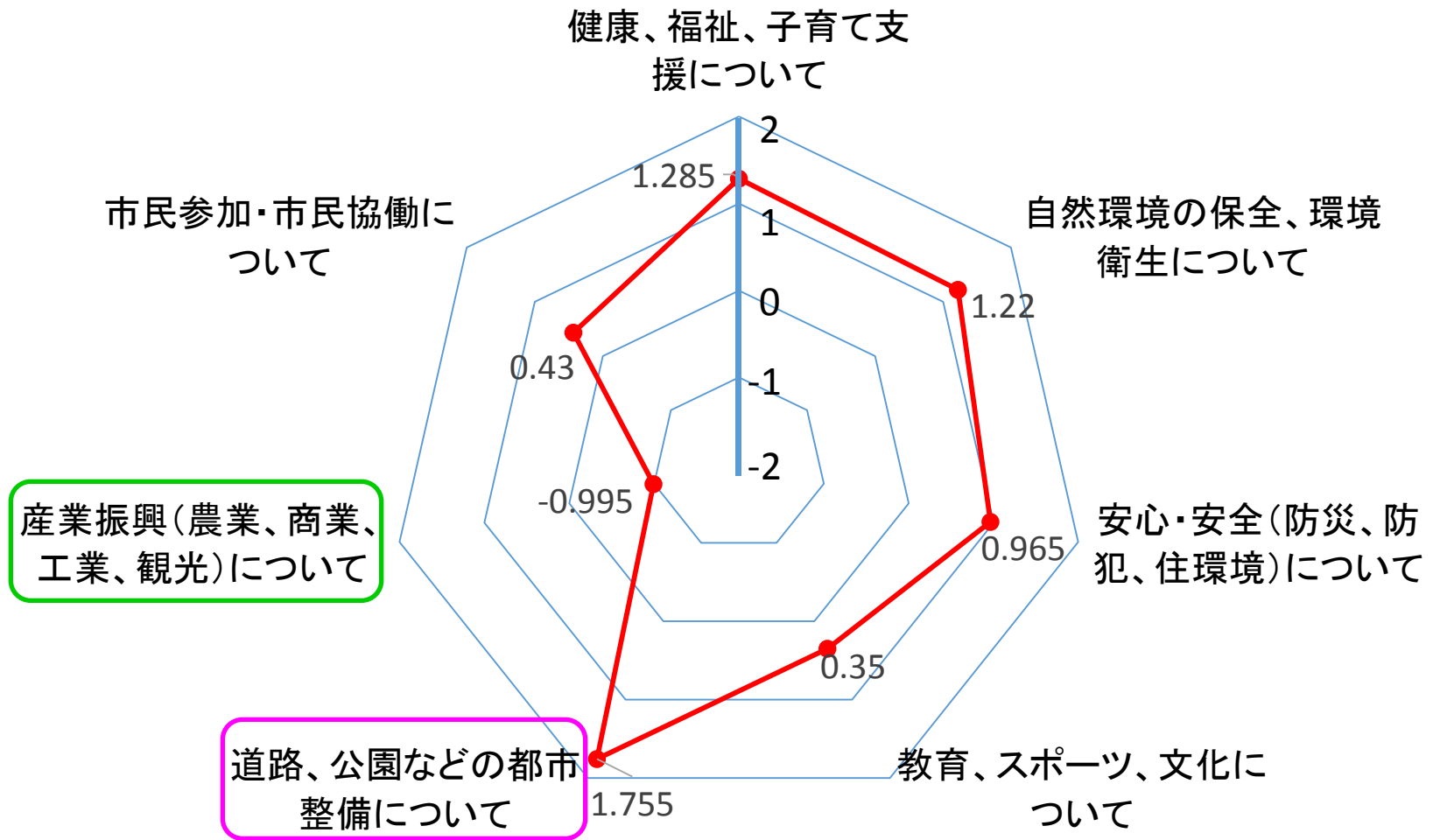
## 居住意向について(SA)



「今の場所に住み続けたい」と「大月市内の別の場所に移住」を合わせた、大月市内への居住意向は69%

「隣接市村へ移住」と「県内その他地域へ移住」と「県外へ移住」を合わせた、大月からの転出意向は28.6%

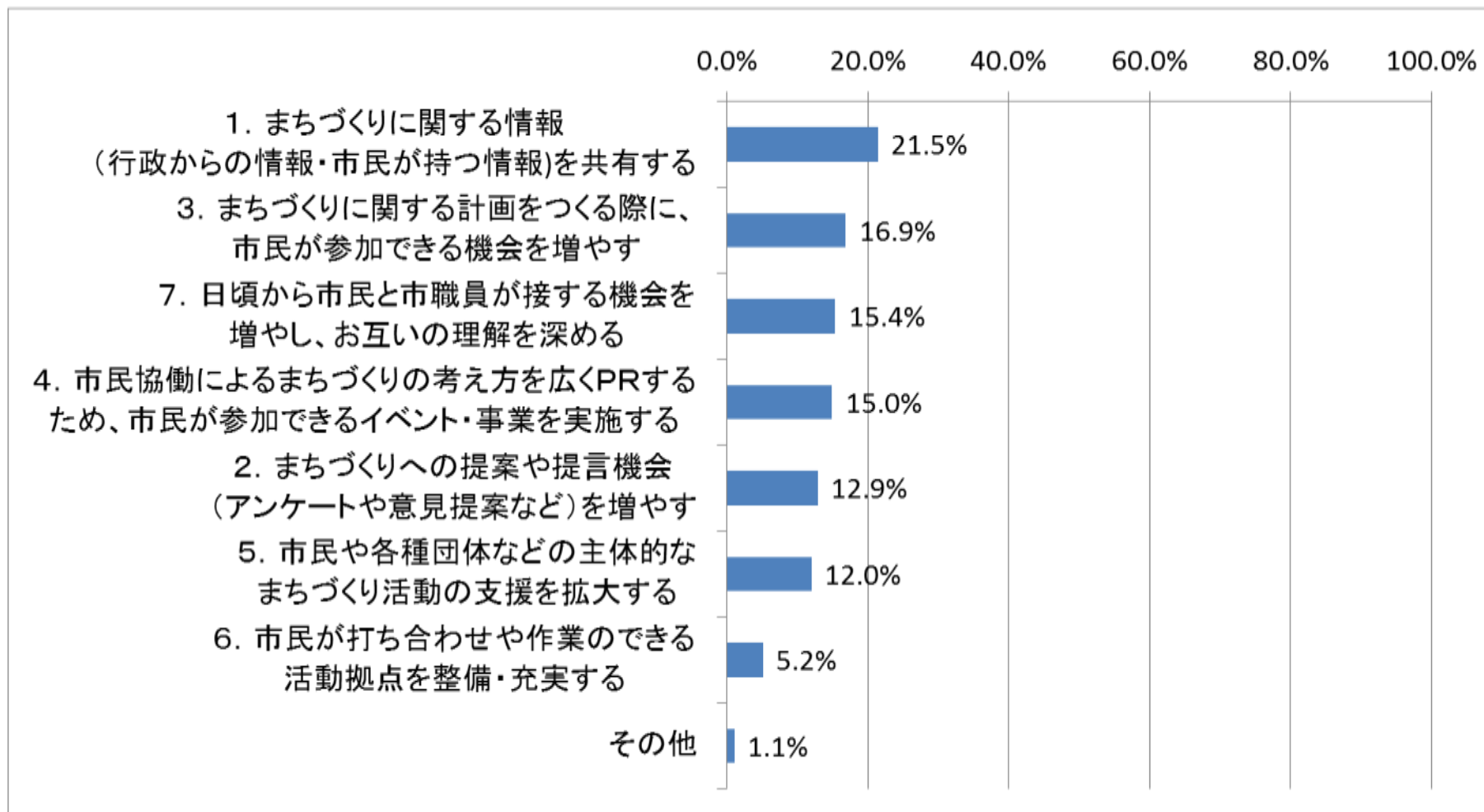
# 10年前の大月市と比べた各項目の評価(SA)



「道路、公園などの都市整備」の評価が高く、  
「産業振興（農業、商業、工業、観光）」の評価が低い

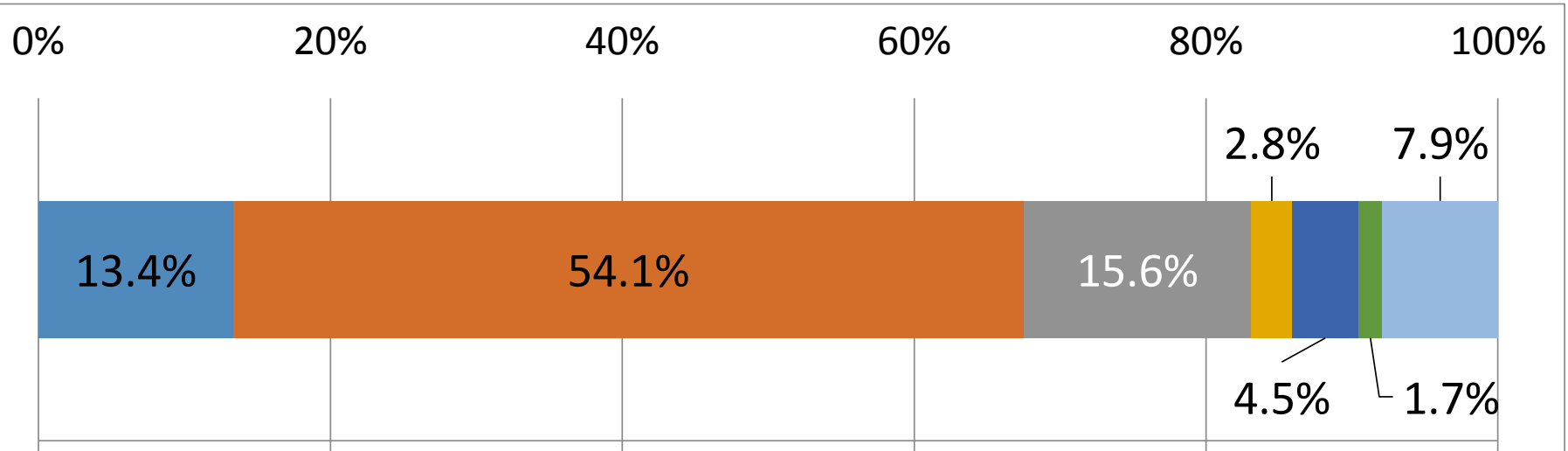
※かなり良くなったを+2、かなり悪くなったを-2のように重み付けし、評価をスコア化したもの

## 「市民との協働によるまちづくり」への取り組みで重要なこと(2LA)



「まちづくりに関する情報を共有する」が最も多く、  
「まちづくりに関する計画をつくる際に、市民が参加  
できる機会を増やす」が続く

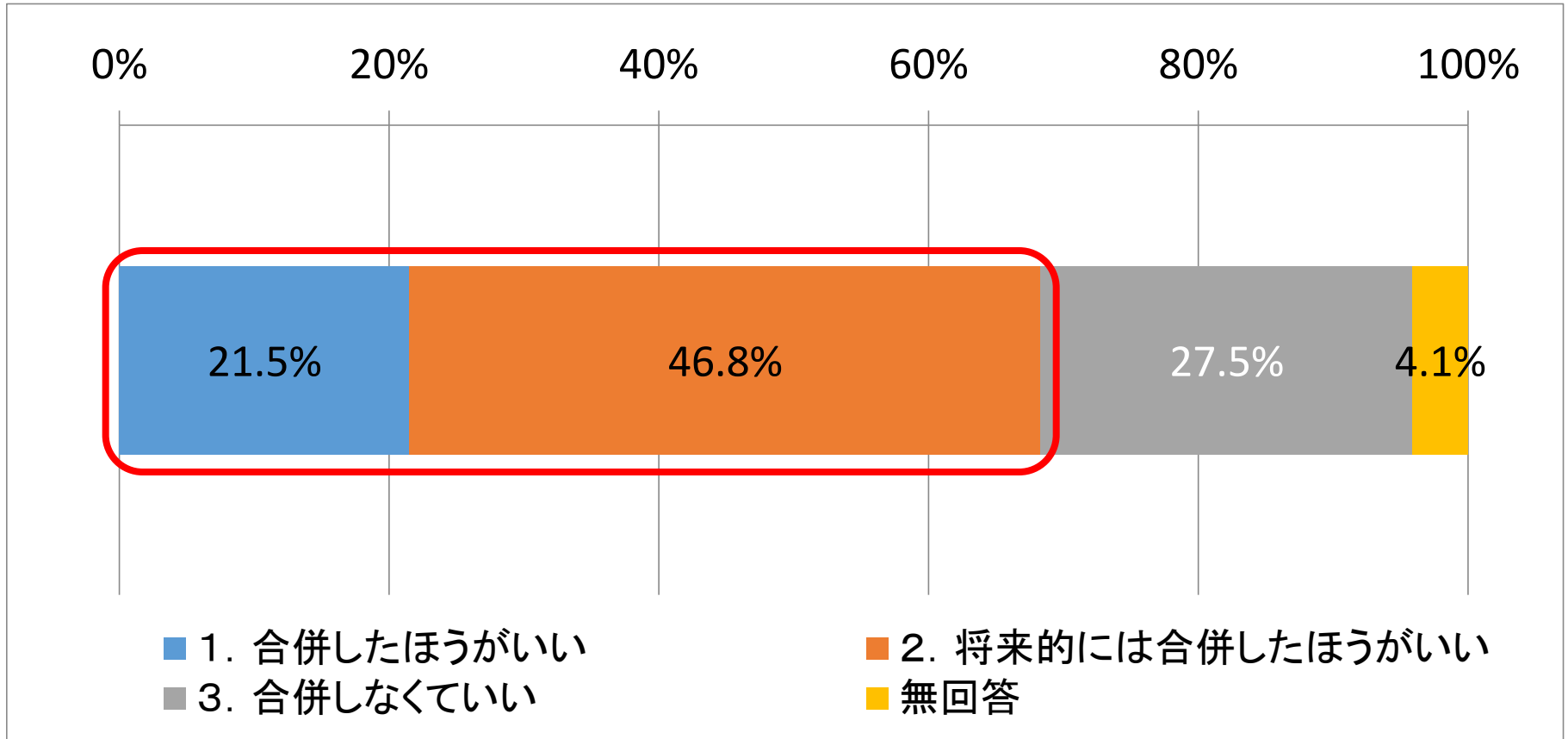
# これからの行政サービスのあり方について(SA)



- 1. 受益者に一定の負担を求めて収入を確保し、これまでどおりの種類や水準を確保すべきである
- 2. 種類と水準を見直し、サービスの重点化を図るべきである
- 3. 種類が減るのは仕方ないが、水準は維持すべきである
- 4. 種類は維持し、水準低下は仕方ない
- 5. 種類が減り、水準も低下することは仕方ない
- 6. その他

「種類と水準を見直し、サービスの重点化を図るべきである」が最も多く54.1%

## 合併についての考え(SA)



「合併したほうがいい」と「将来的には合併したほうがいい」を合わせた、合併に肯定的な意見が68.3%